

GDM-825Xの操作について

設定を本体メモリ(PARAXX)に保存および設定の呼出し手順について。

GDM-825XAは本体メモリPARA01に設定を保存することで電源オンでデフォルトとして常にPARA:01で起動させることができます。また、インターフェースの設定も保存できます。

■ インターフェースの設定

1. GDM-825xAの電源をオンにします。
2.  →  キーを押しメニューを表示させます。  キーを2度押し I/Oにします。
3.  キーを押しインターフェースにし( キーでRS-232CまたはUSBを選択)
4.  と  キーでインターフェース設定にし  キーを押しで変更を確定します。
注意: インターフェース設定が完了しました。

■ 設定の保存

5.  キーI/Oに戻ります。次に  キーを2度押しSYSTEMに戻ります。
6.  キーを押し次に  キーを2度押しSAVEへ入ります。(別のPARAアドレスへ)
7.  キーを押し現在の設定をPARA:01に保存します。(その他のアドレス(PARA02~)へ保存する場合は  キーを使用してください。)  キーを押し設定を確定します。

保存の完了です。

電源オン時にPARA01で起動するには一度RECALLでPARA:01設定を呼出してください。

■ 設定の呼出し

8.  キーを押し、RECALLに入ります。
9.  キーを押しPARA:01にある設定条件を呼び出します。(その他のPARAアドレスを呼出す場合には、 キーを使用してください。)  キーで設定を確定します。

呼出し完了です。

10.  キーを押すとMENU設定状態から戻ります。

注意1: 上記の手順が完了すると、GDM-825Xは電源オンでデフォルトとして常にPARA:01で起動します。

注意2: 現在の機能とレンジを含むパラメータは保存されますが、スキャナチャンネル状態は保存されません。